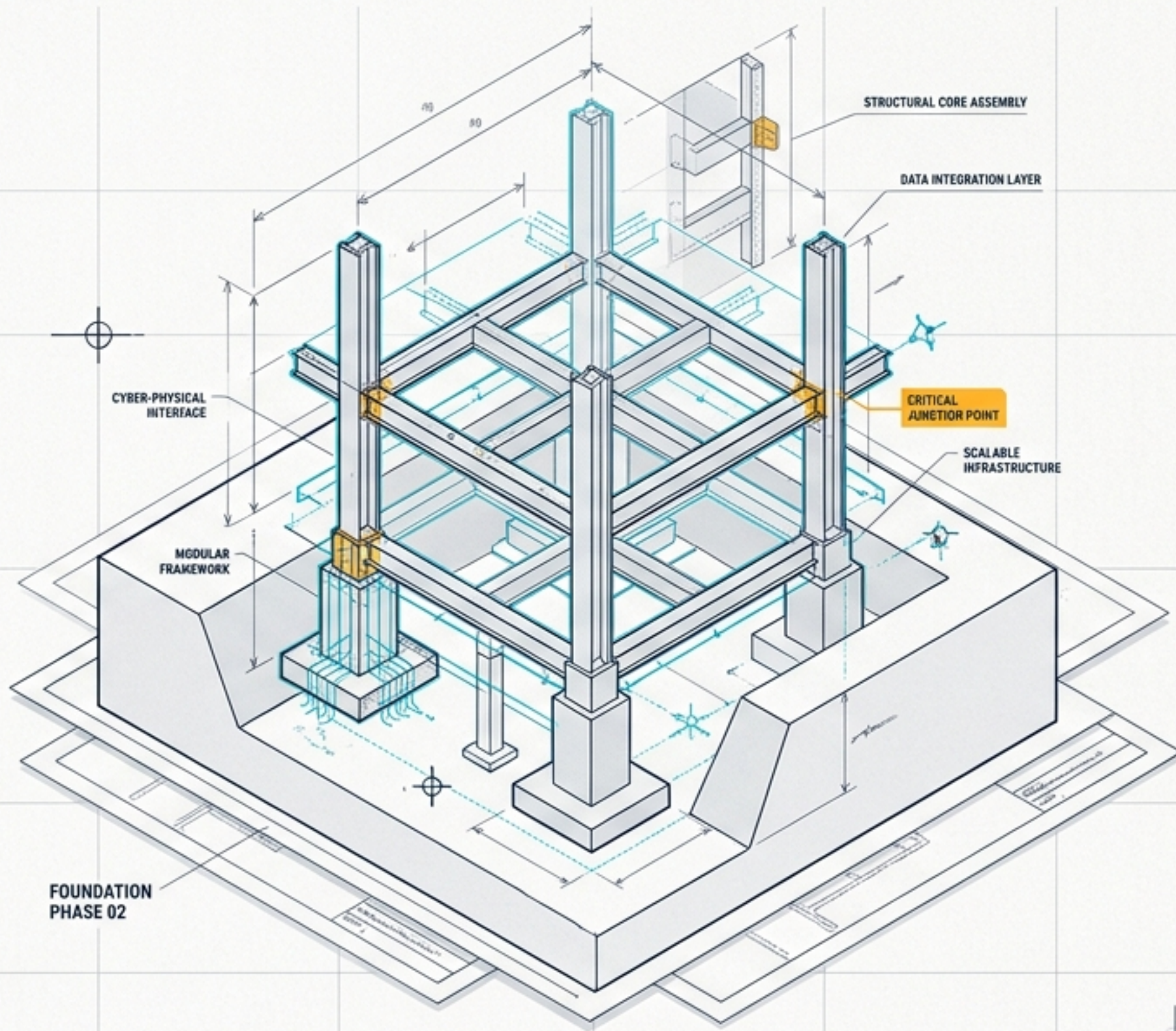
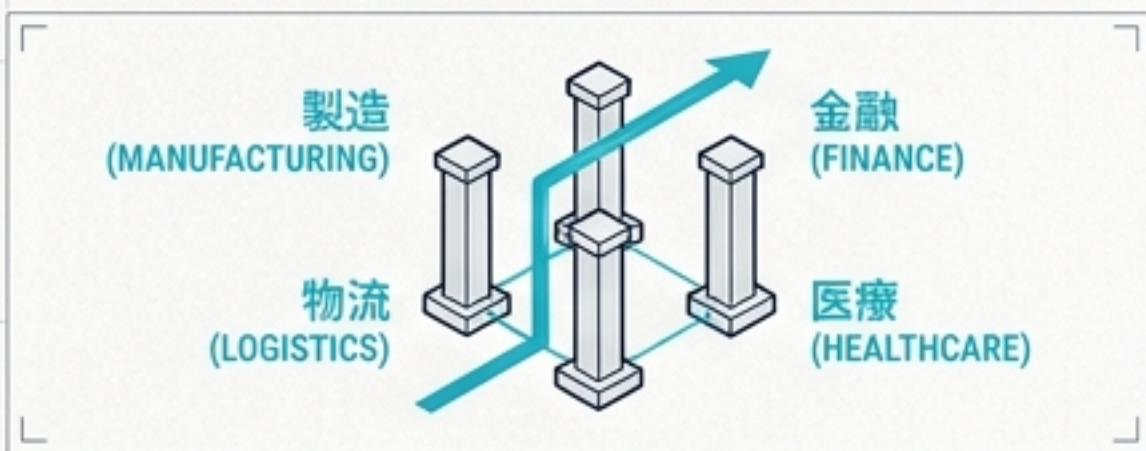


# 日本AI実装 第二フェーズ

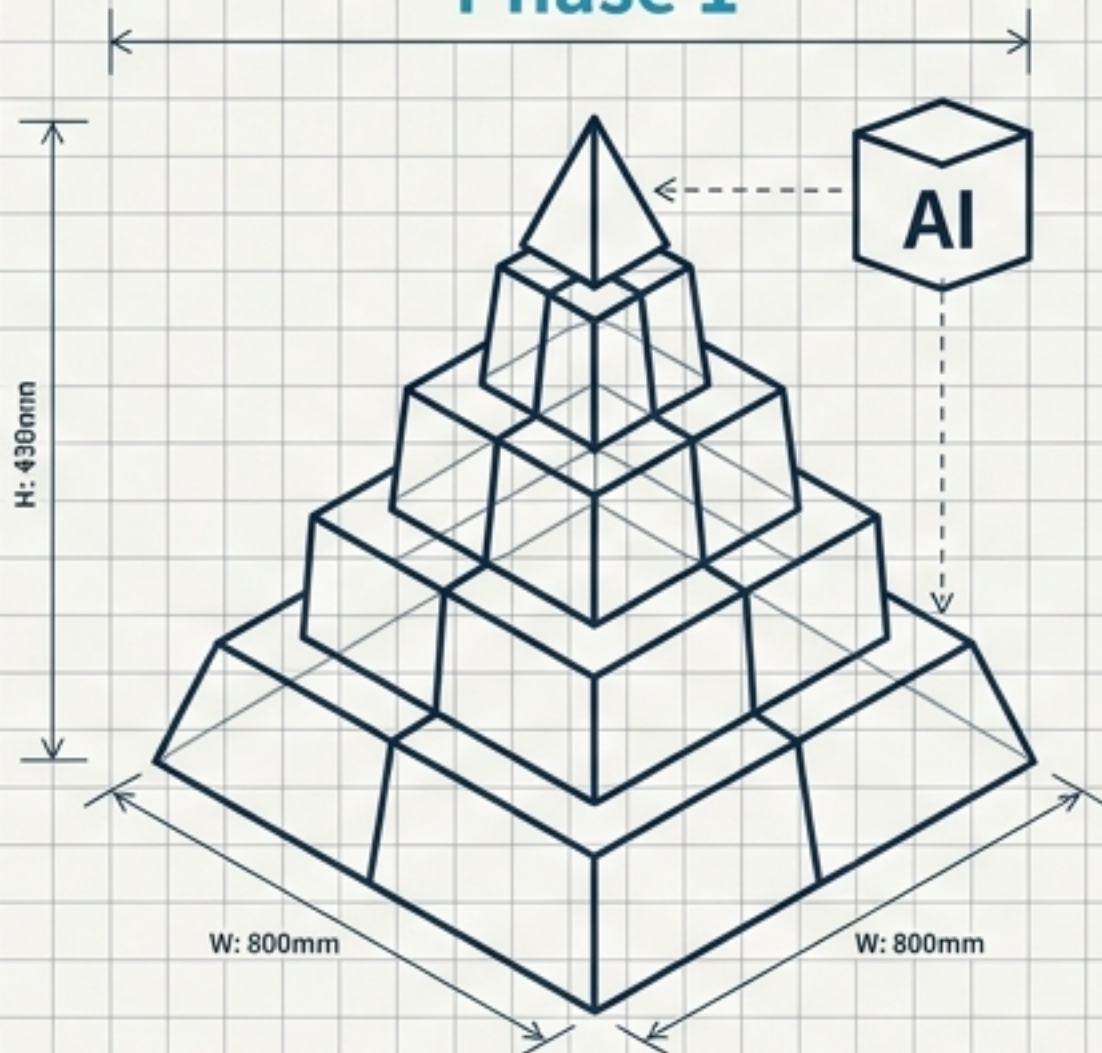
「推奨」から「前提」へ。主要4業界で  
一斉に書き換わるビジネスの基本設計



2026年5月、働き方のルールが根本から変わる。

# AIは「便利な追加ツール」から、ビジネスの「基本設計図」へと移行した

## Phase 1

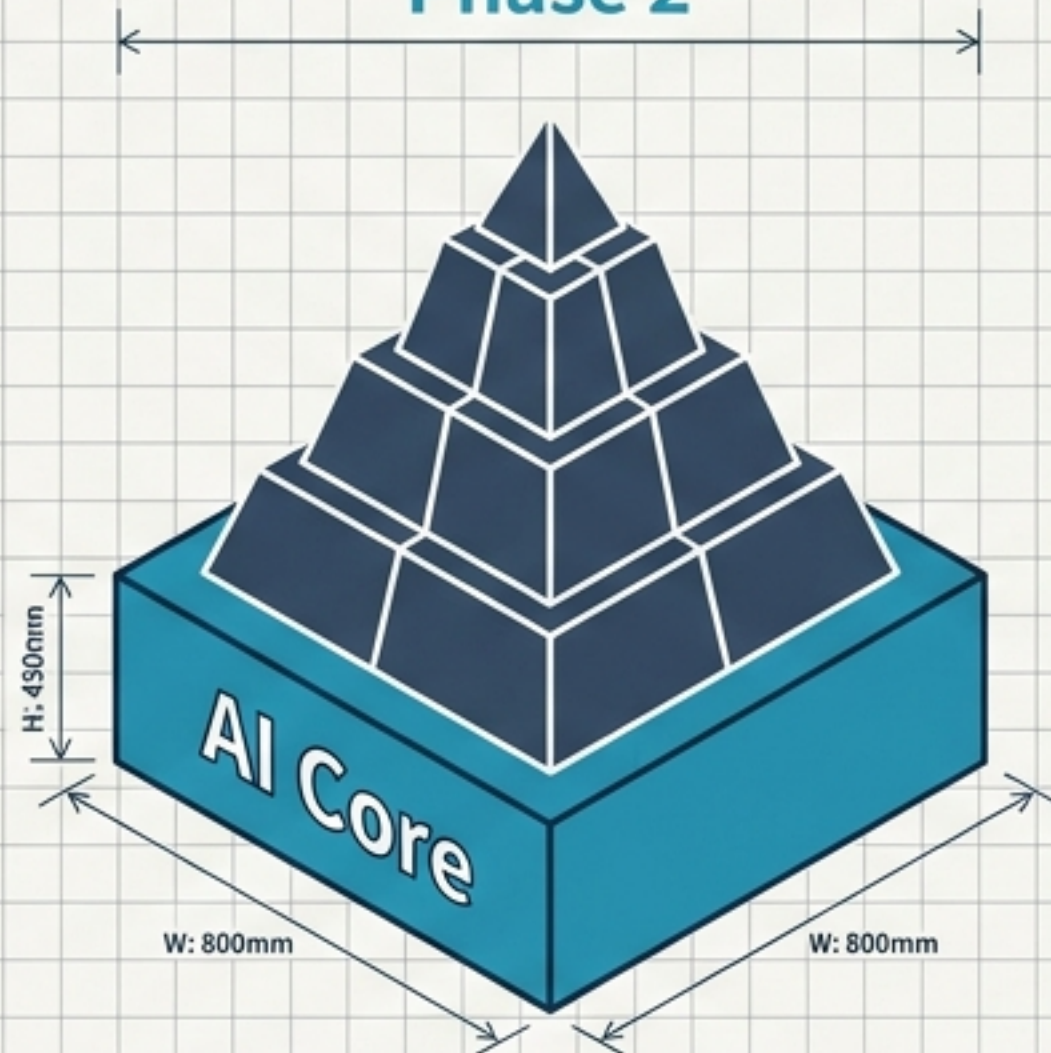


### フェーズ1：足し算のAI

一部の先進企業による自主的な工夫

既存の業務フローの上に「効率化ツール」として乗せる段階

## Phase 2



### フェーズ2：前提のAI

実務標準・仕様書そのものへの組み込み

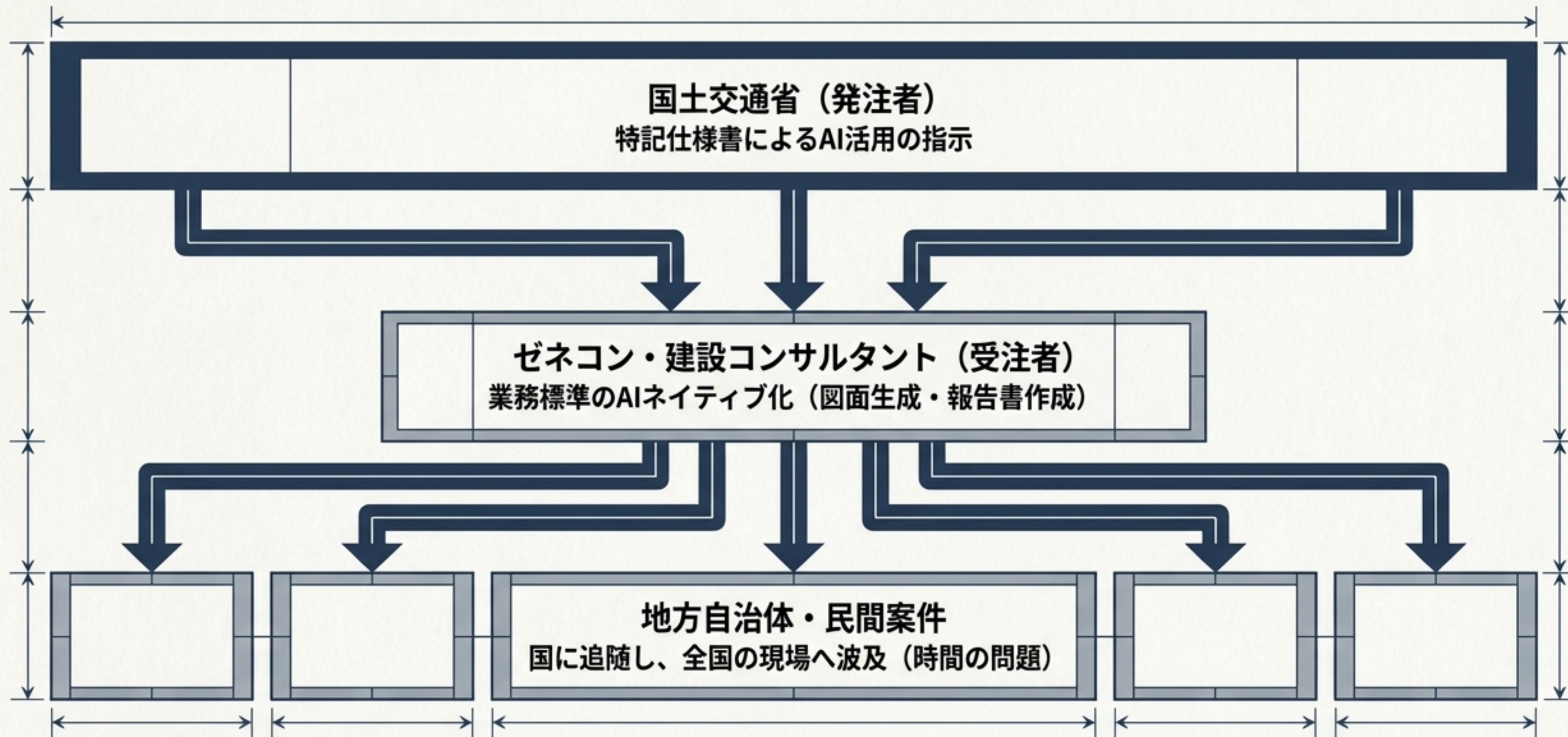
AIが存在することを前提に、業務フロー全体をゼロから再設計する段階



# 主要4業界で一斉に書き換わる「実務の前提」

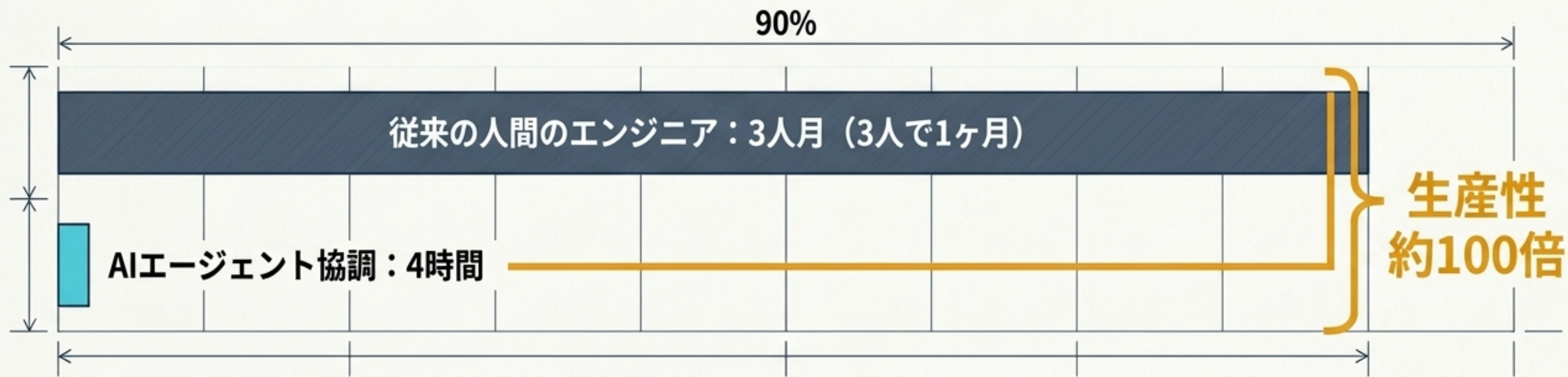
業界	リードプレイヤー	変化の対象	破壊的インパクト
建設	国土交通省	業務の公式仕様書	「推奨」から「契約上の前提」への転換
IT / SI	富士通	ビジネスモデル	100倍の生産性向上と「人月」の終焉
銀行	三菱UFJ銀行など	実務オペレーション	月22万時間 (1,400人分) の自律的代替
製薬	第一三共 × AWS	研究開発プロセス	創薬期間4年短縮・600億円のコスト削減

# 建設業界における「AI利用の義務化」がサプライチェーン全体を再定義する



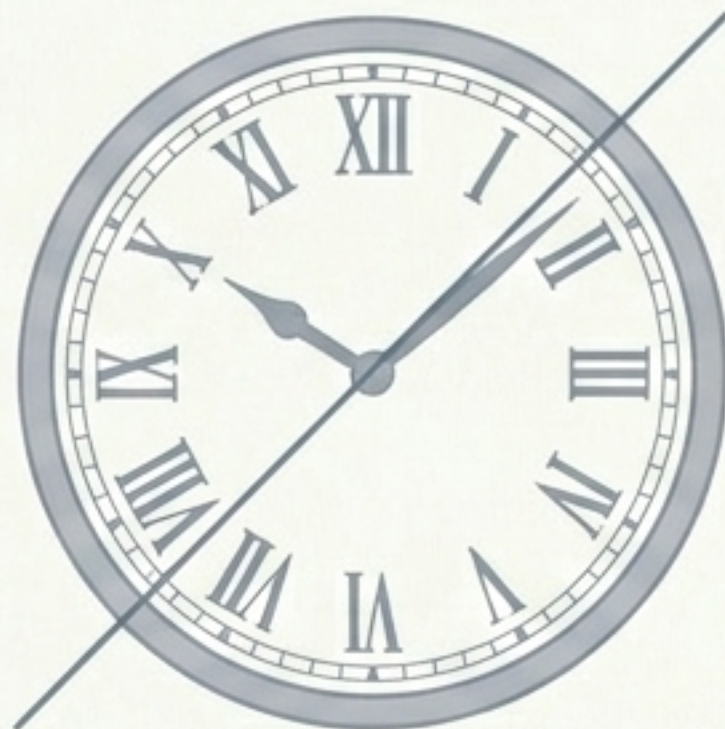
企業ごとの「自主的な工夫」の時代は終わり、AI対応力が「入札・受注の必須条件」となる。

# ソフトウェア開発の全工程をAIエージェントが協調し、生産性を100倍へ引き上げる

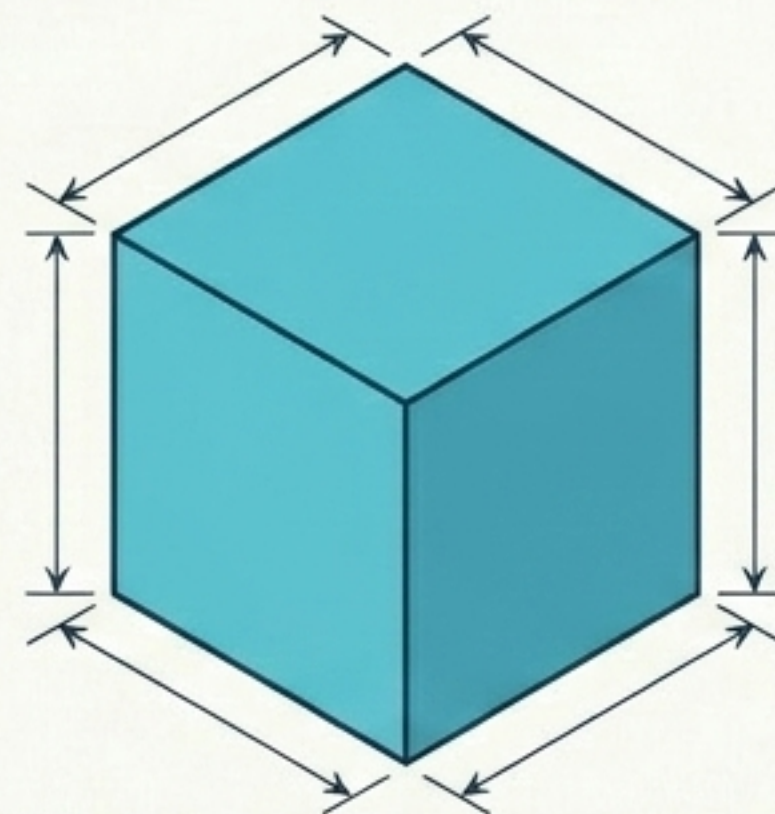


リードプレイヤー	プラットフォーム	メカニズム
富士通 (2024年2月17日発表・ 本格運用フェーズ)	AI-Driven Software Development Platform	複数のAIエージェントが自律的に協調。 要件定義 → 設計 → コード作成 → 結合テストま、 で、全工程を自動で完結。

# 「人月モデル」の終焉と、提供価値で評価される「FDE」の誕生



「人月モデル」  
費やした「時間」に対する対価



「FDE (Functional Delivery Engineer)」  
届けた「機能の価値」に対する対価

作業が4時間で終わる時代において、「何ヶ月働いたか」で請求する従来のSIビジネスモデルは崩壊する。  
富士通は人月モデルからの脱却を宣言。労働時間ではなく、AIを駆使  
して「提供した機能の価値」で評価される新しいエンジニア像 (FDE) へ舵を切った。

メガバンクの「AI行員」が、毎月フルタイム1,400人分の実務を代替する本番運用へ



### 三菱UFJ銀行

1月から順次稼働の「AI行員」が役員スピーチライターや問合せ対応など20業務を担当。実験ではなく本番運用。

### 三井住友FG

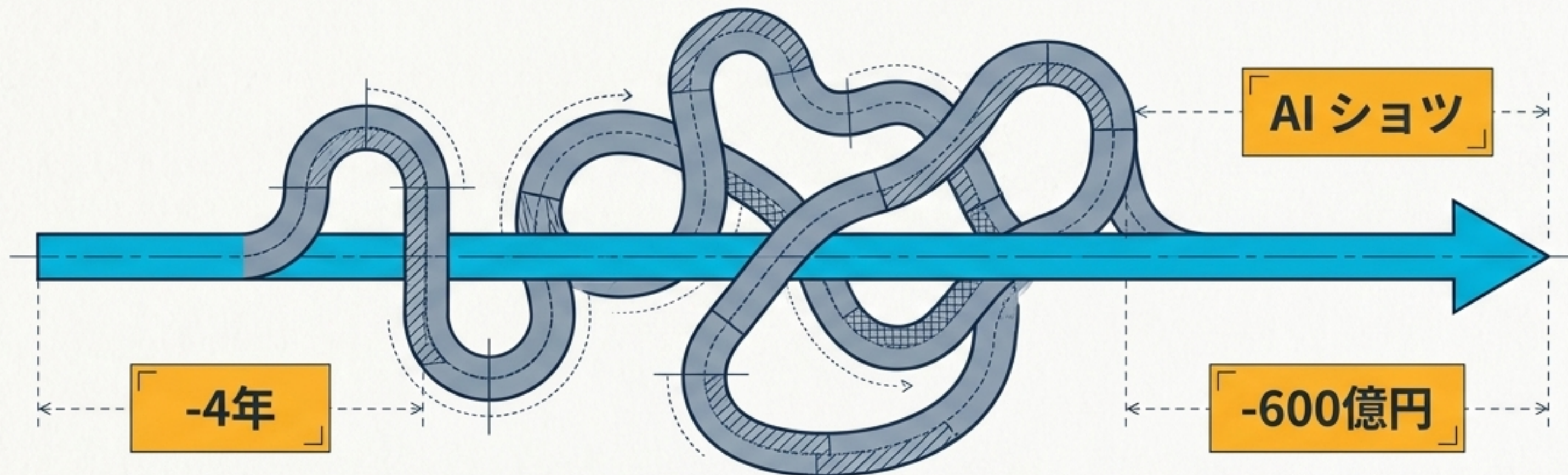
今後5年間でAIに500億円の戦略投資。

### みずほFG

「全社員がAIを使いこなす文化」を推進。

3メガバンクの戦略が出揃い、日本の金融業界のオペレーション標準が完全に「AI前提」へ書き換わった。

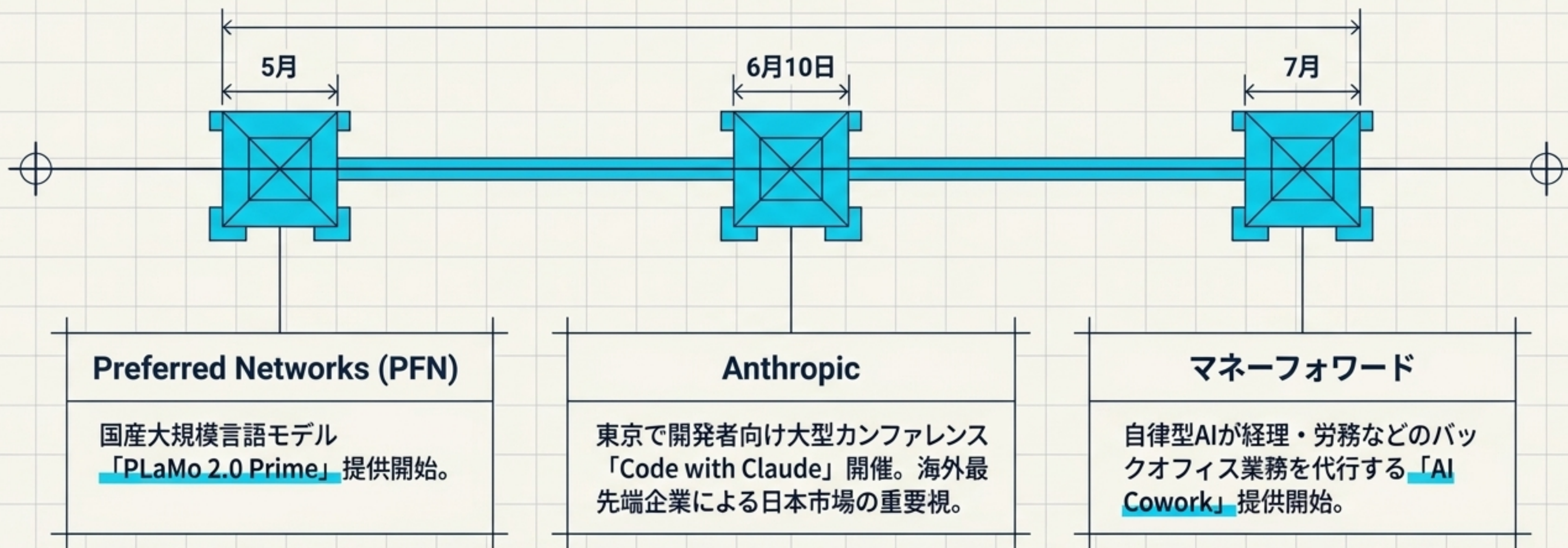
# 新薬開発にかかる時間を4年短縮し、日本の経済安全保障の試金石となる



リードプレイヤー：	第一三共 × AWS
システム：	2026年から本格運用される「AIエージェント統合型創薬基盤」
インパクト (京都大学試算)：	通常10年以上・数千億円かかる新薬開発において、 期間を4年短縮、コストを1薬あたり600億円削減。

戦略的意義
これは単なる企業戦略ではない。 海外に依存せず、国内で新薬を生み 出す力を維持するための「製薬経済 安保」の要である。

# 国内外のトッププレイヤーが「日本の第二フェーズ」に合わせてインフラを投入している



「日本の 第二フェーズ」インフラステーションは、日本のAIインフラストラクチャーは、この数ヶ月で「AIに任せる」自律型エージェントの受け入れ態勢を完了しつつある。

# これはAIの導入ではない。仕事のルール、価値、規模、速度の「再設計」である



## 第二フェーズの設計図に適応するための3つの即時アクション



### 1. 業界のルールの変化を監視する（今月中）

国交省に追随する他省庁の動きを見越して、自身の業界の業界紙や公式団体のガイドラインを直ちに確認する。



### 2. 「人月・時間ベース」の業務を特定する

富士通の事例のように、100倍の効率化の標的（=消滅するビジネスモデル）となる「時間で測られている業務」を洗い出す。



### 3. AIを「前提」とした壁打ちを行う（今週中）

ChatGPTやClaudeに、現在の業務の最大の悩みを相談する。  
第二フェーズは、一人ひとりが「AIを使う前提で考える」ことから始まる。

どの業界の「ルールの書き換え」が、あなたに最も大きな影響を与えますか？